



校長室の窓から

校長 飯塚博文

※「校長室から」感じたこと等を不定期で発信していきます。

93 7月25日(金)

ある新聞記事に目が止まりました。「自分の基準を手放す～大人が無意識で持っている『子どもはこうあるべき』という基準を押しつけるのではなく、まずはその子どもの行動や表情をじっくり観察する。個性を知ること、その子どもに合った支援が見つけれられる」

※一人言・・・かき氷の日です。日付けの語呂合わせですが、わかりますか？

92 7月24日(木)

「子育て」について。家庭でも学校でも、「子どもをどう育てればいいのか」が優先されがちです。そこで、ある記事を目にしました。「子育てや教育とは、教え込むのではなく、子どもが自らやってみたいと意欲的に学び出せるように関わりを工夫し、環境を整えていくこと」そのためにも、どの子どもも安心して日々を過ごしているかということが大切です。

※一人言・・・2020年は7月24日が「スポーツの日」でした。なぜか？

91 7月23日(水)

子どもたちが私に話しかけた時には、笑顔で耳を傾けるように心がけています。楽しい話題ばかりとは限りませんが、私がいったん受け止めて、「どんな気持ちだった。」、など広げてあげることで、子どもの中にも新しい発想が生まれていきます。この夏休み、忙しいこともあると思いますが子どもにたくさんしゃべらせ、それを笑顔で聞いてあげることが、子どもの力を育む貴重な機会となります。是非、ご家庭でも。

※一人言・・・最近、自筆で手紙を書いたのはいつですか？一筆とってみませんか？

90 7月22日(火)

暦の上では「大暑」。一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。先週末は、体力を保つために鰻を食べる「土用の丑」の話題をよく耳にしました。その由来は、平賀源内が売り上げ不振の鰻屋に「本日土用の丑の日」と張り紙をするようアドバイスして、人気になったから…という説がよく知られています。今年は 31 日も当てはまります。いよいよ、夏真っ盛りです。

一人言・・・〇〇を鳴らしてやつが来る。腰に手ぬぐいぶら下げて～

89 7月21日（月）

海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う祝日です。今日は気温が上がり、昼間、通りを歩くだけで汗が噴き出すくらいでした。まだまだ、気温が高い日が続く予報が出ています。熱中症には十分に注意してください。明日から個人面談週間となります。保護者の皆様も十分に気を付けてお越しください。

一人言・・・日本三景といえば、どこだかわかりますか？

88 7月20日（日）

昨年度より、子どもたちには「あいさつ」「命」「やさしさ」を機会あるごとに問いかけてきました。この1学期も同様です。「あいさつ」では学期後半、朝門の近くに JRC 委員会の子どもたちが挨拶運動を行っている姿が見られました。お昼の放送では、生活向上委員会によるハッピープロジェクトの投稿を発表する場があります。素晴らしいことです。「命の大切さ」を含め、引き続きこの3つの柱で子どもたちに接していきます。

87 7月19日（土）

いよいよ夏休みが始まります。この夏休みに、かけがえのない時間を子どもたちが過ごせることを大いに期待しています。9月1日には一回りも二回りも成長した姿に出会えることを楽しみにしています。家庭に帰るこの時期。保護者の皆様も子どもたちと有意義に時間を過ごしていただけると幸いです。また、1学期。学校へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

一人言・・・001～009 懐かしのアニメ。久しぶりに手にしたいものです。

86 7月18日（金）

【終業式での話】

鎌ヶ谷小学校の皆さん、おはようございます。

みなさんの1学期を振り返ります。毎日素敵な挨拶ができました。大きな事故がありませんでした。廊下を走る姿も少なくなりました。優しい姿がたくさん見られました。

みんな4月からよく頑張り、心も体も大きく成長しました。

明日から長い夏休みに入ります。授業はありませんが、みなさんの成長は止まるわけではありません。遊んだり、勉強したり、夏休みにしかできないことや体験をたくさんしてほしいと思います。

では、9月1日の始業式にまた皆さんと元気に会えるのを楽しみにしています。

85

7月17日（木）

4～6年生を対象に「SNS安全講習会」を行いました。講師は千葉県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課所属の方をお招きしました。SNSにより犯罪に繋がった実例をあげながら、潜んでいる危険性についての注意喚起および対応策を話していただきました。是非とも家庭でもSNS、オンラインゲームなどについて話題にしてください。



※一人言・・・

Apple社のカレンダーアプリです。なぜ？

84

7月16日（水）

1・6年生の絆プロジェクト「縁日」が行われました。6年生が1年生と一緒に交流を深めるため、6年生の各学級が趣向を凝らした催しが開かれました。その内容は、私の予想をはるかに超えるもので、感心しました。1年生も大いに楽しんだひとときとなりました。素晴らしかったです。

83

7月15日（火）

昨日で今年度の水泳学習の全てが終了となりました。今年度から、学習ボランティアとして、プールサイドからの見守り、参加できない児童への見守りなど保護者の皆様に尽力していただきました。この間、暑さが厳しい時には交代交代で行っていただいたり、雨がふってきて濡れてしまったり……。それでも笑顔で子どもたちを見守っていただき感謝につきます。本当にありがとうございました。

※1983年のこの日、歴史的な機器が発売されました、それはFC。

82

7月14日（月）

台風5号の接近に伴い、昨日スクリレにて、連絡を配信しました。登校時にはほとんど雨は降ってなく風もそう強くなく、安堵したところでは、登校時に台風などの天候の急変に備え、子どもの安全を第一に考え、市内一斉の対応及び学校全体の対応がない場合は、家庭の判断での「登校の可否」または「遅らせる」をお願いしているところです。本日は、下校時に影響が出ないように、雨雲レーダーとにらめっこの時間が続きます。

81

7月11日（金）

（昨日の続き）子どもはきっと、「転んだら助けてくれる」と学び、転んだままギャン泣きをして助けを待つようになるとお母さんは語りました。助ければ解決する場面を、あえて手を貸さないことにより、子ども自身が転んでも、自分で起き上がる気持ちと力を、自力で身につけてほしいという願いからです。ささやかな場面でしたが、「生きる力」の育成の根幹が垣間見えたひとときでした。

80

7月10日（木）

（昨日の続き）お父さんとお母さんは、転んだ我が子を助け起こすことなく優しく見ていました。その子は一人で起き上がると、また歩き出しては転びます。しかし、その後ふらふらと数歩進んだあとに、「歩けた」喜びに浸ったかのような表情を、夫婦に見せてくれました。夫婦も「すごい、すごい」と満面の笑みで応えます。それでは、もしお父さんが助けに行っていたら、どうだったでしょうか？（つづく）

79

7月9日（水）

先日の光景です。若い夫婦がやっと自分の足で立てるようになった自分の娘を部屋で遊ばせているのを目にしました。ふと、かろうじて立ったその子は、歩きだそうと一歩踏み出すとそのまま前に転んでしまいました。思わず立ち上がって手をだして助けにいかうとするお父さんでしたが、お母さんがとっさにお父さんを止めました。（つづく）

78

7月8日（火）

朝から気温が高く、強い陽差しが差し込んでいます。気温、暑さ指数の数値が高く、今後も上がる見込みです。また、千葉県に熱中症警戒アラートが発表されていることもあり、水泳学習を含む屋外での運動を

中止としました。体育館での運動は、空調が入っているため、体育など運動を通常通り行っています。ちなみに、今日は「ある市町村の日」です。その市とは？頭の運動は「可」です。

77

7月7日（月）

「小暑」ながら、先週末の暑さはとても厳しかったです。まさしく熱波でした。本日の子どもたちの登校状況が心配でしたが、思いのほか体調不良での欠席が多くなく安心しました。とはいえ、今後も厳しい暑さの予報が出ています。学校での活動も状況を見て判断していきます。今日は清涼乳酸飲料を飲みながら、夜空を見上げます。ちなみに、今回の更新での数字がそろったのは偶然です。

76

7月2日（水）

2年生、4年生ともに、元の教室にて通常授業に戻りました。空調も復旧し、子どもたちも先生もようやく平常に戻ったという安堵感に包まれていました。体育館では、体育館体育が再開されました。家庭科室、図工室、会議室も順次それぞれの授業が再開されます。学期末に向けて、平常授業が再開できたことに一安心です。ご心配をおかけしましたが、令和7年、1年の折り返しのスタートとなります。

75

7月1日（火）

2年生、4年生の空調機ですが、業者による修理を終え、使用することができるようになりました。両学年につきましては、段階的に元の教室に移動し、順次通常通りの活動を行っていきます。先週末、昨日と気温の高い日が続きました。校庭や体育館での体を動かす活動及び水泳学習について、暑さ指数の状況を鑑み、実施の可否を判断していきます。

74

6月28日（土）

空調のトラブルの関係で土曜参観を中止し、土曜授業となりました。体育館、図工室、家庭科室、会議室、Englishroom、ほほえみ教室を代替教室として乗り切ってきました。子どもたちにとっても急な教室の変更で申し訳ない限りです。本当によくがんばってくれました。来週には復旧予定です。暑さが厳しい予報がでていますが、空調のトラブルが再発しないことを祈るばかりです。